

資料提供	
令和元年11月25日	
担当課 (担当者)	秘書課広報室 中島辰哉
電話(内線)	30-8008(7040)

令和元年 鳥取市政10大ニュース決定！

このことについて、選考会を開催し、別紙のとおり決定しましたのでお知らせします。

記

1 選考会

令和元年11月25日(月) 午前11時30分から
鳥取市役所本庁舎3階第1応接室

2 選考委員及び選考結果

別紙のとおり

【参考】選考方法及び選考経過

- (1) 市政及び市民生活と関わりの深いニュース項目について、本市で20の十大ニュース候補項目を作成し、追加等について選考委員に意見照会しました。
- (2) 事務局で新たに追加した項目を含め、25の候補案を選考委員に事前通知し検討をお願いしました。
- (3) 選考会を開催し、あらためて候補項目について説明し、意見交換を行いました。意見交換の中で、候補項目を一件追加し、26項目の中からの選考としました。また、内容的に重なる案件については、主たる項目を選考の上、説明文の中に重複項目の内容を反映させる形で集約することとしました。
- (4) 各委員の採点結果を集計し選考しました。
※ 26候補項目について、各委員がそれぞれ1位(10点)～10位(1点)まで得点を付け、合計得点順に上位10項目を選出しました(8位は同点で2項目選出)。

令和元年 鳥取市10大ニュース選考委員名簿

(順不同・敬称略)

	団体	職名	氏名
1	鳥取市自治連合会	会 長	<small>なんぶ さとし</small> 南部 敏
2	鳥取市文化団体協議会	会 長	<small>ほんじょう み さ こ</small> 本城美佐子
3	鳥取市社会福祉協議会	会 長	<small>はやし ゆ き こ</small> 林 由紀子
4	地域サポートネットワークとっとり	代表理事	<small>やまぐち あ さ こ</small> 山口 朝子
5	とっとり若者地方創生会議	会 長	<small>よしだ ま ゆ</small> 吉田 真優
6	市政記者クラブ幹事社	朝日新聞	<small>やだ ふみ</small> 矢田 文
7	市政記者クラブ幹事社	時事通信	<small>いまいずみ ゆう</small> 今泉 悠
8	市政記者クラブ幹事社	NHK	<small>おちあい み く</small> 落合 美紅
9	鳥取市議会	議 長	<small>やまだ のぶたか</small> 山田 延孝
10	鳥取市	市 長	<small>ふかざわ よしひこ</small> 深澤 義彦

令和元年 市政10大ニュース

順位	項目	説 明
1	市役所新本庁舎完成 (8月)	防災・市民サービス、市民交流の強化を目的に、将来にわたる本市の飛躍・発展の礎となる新本庁舎が8月31日に完成しました。新しい庁舎は、大地震時でも庁舎として継続的に機能するよう免震構造を採用し、新たに災害時の指揮命令を行うための専用施設である災害対策本部室を設けるなど本市の防災機能の拠点として整備しました。また、1、2階の市民、福祉、税の総合窓口化による手続の簡素化、窓口間移動の軽減を図り、市民活動や交流の場となる多目的室や情報発信スペースを設けた市民交流センターを併設したほか、新たに山陰地方初の自治体コールセンターによる総合案内の導入など市民サービス機能の充実を図りました。
2	鳥取市制施行130周年 (10月)	鳥取市は、明治22年10月1日市制施行により、全国で36番目の市として誕生し、令和元年に130周年を迎えました。10月1日には新本庁舎完成と併せて、鳥取市制施行130周年を記念した式典が開催され、永年にわたり本市の振興と発展に貢献されたみなさんの表彰も行われました。
3	鳥取西道路開通 (5月)	5月12日、山陰道鳥取西道路が全線開通し、当日の記念式典では国土交通省、県・市の関係者、地元関係者などが出席し全線開通を祝いました。この開通によって鳥取市～米子市間の所要時間の約15分短縮や、国道9号の渋滞緩和などの効果があらわれ、その好機を生かすべく6月30日には西地域の観光・交流の拠点となる道の駅「西いなば気楽里」もオープンもしました。高速ネットワークの整備が、今後も産業・観光などさまざまな分野で、鳥取県東部圏域の一体的な発展に大きく寄与していくことが期待されます。
4	2019年版第7回 「住みたい田舎」ベスト ランキング 鳥取市 が3部門で第1位受賞 (1月)	「2019年版住みたい田舎ベストランキング (宝島社『田舎暮らしの本』2月号)」で、鳥取市が3部門 (総合部門・若者世代が住みたい田舎部門・自然の恵み部門) で第1位に輝きました。総合部門では、2年ぶり2度目の1位を受賞したほか、鳥取市が複数の部門で1位を受賞したのは初めてとなります。鳥取市は利便性と豊かな自然環境それぞれの魅力を備え、移住前から移住後までの一貫した相談・サポート体制や、幅広い世代を支援する制度が整っていること、若者や子育て世帯向けの家賃補助や、Uターンで就職活動をする際の交通費補助を新設したことなどが評価されました。今後も起業支援につながるまちづくりファンドなど、まちの新たな魅力創出につながる施策を推進していくこととしています。
5	麒麟のまち圏域のス トーリーが日本遺産に 認定 (5月)	5月20日、麒麟のまち圏域に受け継がれる麒麟獅子舞を生かしたストーリー『日本海の風が生んだ絶景と秘境ー幸せを呼ぶ霊獣・麒麟が舞う大地「因幡・但馬」』が、地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化や伝統を語る「ストーリー」として国が認定する日本遺産に認定されました。

令和元年 市政10大ニュース

順位	項 目	説 明
6	新可燃物処理施設建設工事に着手（8月）	河原町国英地区にて進めている新可燃物処理施設整備事業は、平成30年7月の鳥取県東部広域行政管理組合議会の議決、本年8月2日の起工式を経て、8月中旬から施設の建設工事に着手しました。鳥取県東部唯一の可燃物処理施設となることから、今後も本組合及び東部4町と連携し、令和4年夏の供用開始を目指していきます。
7	新元号「令和」で万葉ブーム（4月）	因幡万葉歴史館は、新元号「令和」の典拠となった『万葉集』ゆかりの地として注目を集め、新元号に関する企画展等も開催する中で例年の2倍以上の来館者を記録したほか、9月には佳子内親王殿下にもご来館いただきました。
8	全国初！郵便局と連携した「こども食堂」への支援活動を開始（2月）	こども食堂は、本市においても子どもを中心にして地域のさまざまな人が集う「地域食堂」として展開されており、平成29年11月には「地域食堂ネットワーク」を設立し、食堂の運営団体、支援団体、行政が一致協力・連携し、食堂の継続的・安定的な運営を行うため支援を行っています。平成31年2月18日、日本郵便株式会社と本市が連携し、郵便局ネットワークを活用し各局にフードボックスを配備、家庭で利用見込みのない食品を市民の皆様から持ち寄っていただき、それらをこども食堂へ寄付する全国初の取組がはじまり注目を集めました。
8	第55回を迎えた鳥取しゃんしゃん祭！（8月）	第55回を迎えた鳥取しゃんしゃん祭は、今年も踊り子3,757人による一斉傘踊りを中心に鳥取市の夏を盛り上げました。第55回を記念して「鳥取駅前風紋広場特設ステージ」や「智頭街道照明演出」、「しゃんしゃん回顧展」などの例年になく企画も行われ、3日間で332,400人もの来場者でにぎわいました。 また、全国の名だたるお祭りとともに参加した11月10日の「天皇陛下の御即位をお祝いする国民祭典」でもしゃんしゃん傘踊りを披露し、大きな拍手を浴びました。
10	“第30回全国「みどりの愛護」のつどい”が鳥取市で開催（5月）	秋篠宮皇嗣同妃両殿下の御臨席を仰ぎ、全国各地から多くの皆様をお迎えし、令和の時代最初の“第30回全国「みどりの愛護」のつどい”が、本市において盛大に開催されました。緑を守り育て親しむとともに、広く都市緑化意識の高揚を図る絶好の機会となりました。